



Green For All
KAWASAKI
2024



YUMEMI ZOO



季刊 VOL. 72
発行日 令和6年5月7日
発行責任者 夢見ヶ崎動物公園
問い合わせ 044-588-4030
飼育展示数 哺乳類:20種129点
鳥類:21種65点
爬虫類:10種291点
(令和6年4月末日現在)

最近の動物公園

今年の桜は咲き始めが遅かったのにあっという間に散ってしまいました。園内のツツジやサツキは平年よりだいぶ早く咲き始めています。ヤマブキも見事でした。スミシがいつもより多く咲いているように感じます。また、数年ぶりに3月は春の動物園まつり、4月は飼育の日イベントなどを開催することができました。



新任職員紹介

多摩区役所から異動してまいりました。夢見ヶ崎動物公園での勤務は初めてとなり大変緊張しております。以前は中原区に所在する動物愛護センターの再編整備などを担当させていただきました。夢見ヶ崎動物公園が市民の方々に愛され、憩いの場となるように、様々な取り組みを行ってまいりますので、よろしくお願いいたします。まだまだ未熟の点が多くご迷惑をおかけいたしますが、お気軽にお声かけください。(園長 小倉)



飼育係は命を預かると同時に「心と向き合うお仕事」だと感じています。動物も人と同じように心をもつ生き物で、その時々様々な表情を見せてくれます。入庁してあまり日は経っていませんが、これからも園内の動物たちとしっかり向き合って、考えながら取り組んでいきたいと思っております。また動物たちとの心の距離も少しずつ縮めていけるように頑張ります！(飼育・福田)

*公式 Twitter(X)始めました。

*公式 Facebook はこちらから。→



★事務所工事についてお知らせ

動物公園事務所の建て替え工事のため、事務所前の駐輪スペースが使用できません。工事中は4か所に分散した臨時駐輪スペース（ホームページ、twitter、園内に掲示の地図参照）をご利用いただきますよう、ご協力よろしくお願いします。

★ピックアップ動物★

ワタボウシパンシェ

哺乳綱 サル目 オマキザル科

中米コスタリカ、パナマの熱帯雨林に生息しています。昆虫や樹液、果物等を食べ、群れで暮らし、生まれた子は母親だけでなく父親や群れ全体で面倒を見ながら子育てをする性質があります。野生では絶滅の恐れが大変高く、生息環境の保護と同時に、動物園など飼育下で数の維持を行うことも絶滅回避のため重要です。

当園のワタボウシパンシェはペアの片割れが死亡して以降、しばらく♂のみで1頭でしたが、4月22日に千葉市動物公園から♀のダンが来園しました。検疫、お見合いを経て問題なければ同居に踏み切る予定です。穏やかでやや神経質なまつと、移動直後から物怖じせず大物の片鱗を見せるダン、まずは仲良くできることを願いながら見守っていきます。



獣医の日記

先日、やぐらの上からなかなか降りてこないレッサーパンダのケイコのおしりにウンチがぶら下がっているのを発見し、思わず手を伸ばして取ってしまいました。よく見ると、普段は竹の葉がそのまま出てくるようなウンチに、竹ではなく毛がみっちり詰まった状態でした。換毛期ゆえ毛づくろいで飲み込んだ毛がウンチと一緒に出てきたようです。

ウンチは健康のバロメーター。飼育担当も獣医も匂いや色、形などをよく見ます。特に獣医は細かく砕いたり溶かしたり顕微鏡で覗いたり、詳しく検査します。汚いと言ってられない…というより、しっかり清掃消毒すれば必要以上に汚いと言って嫌がるものではないという意識があるためか、昼ご飯を食べながらウンチの話題（もちろん診療関係の議論ですが）を交わしていることも日常です。



★動物たちの主な移動(令和6年2月1日～令和6年4月30日)★

マーコール(♀1死亡)、パラワンコクジャク(♀1死亡)、ハクビシン(♂1死亡)、フンボルトペンギン(性別不明1繁殖)、オグロプレーリードッグ(♀1死亡)、クロシロエリマキキツネザル(♀1搬入←千葉市動物公園)、ワタボウシパンシェ(♀1搬入←千葉市動物公園)